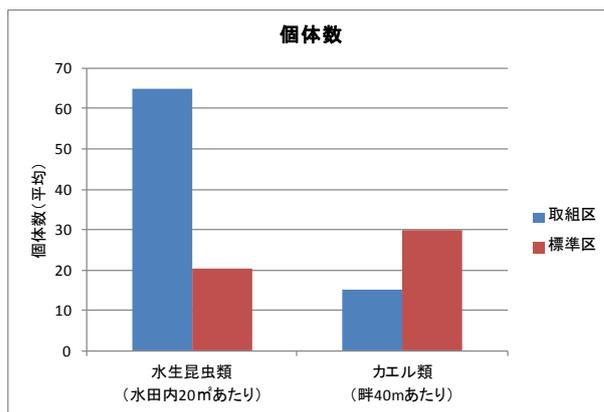
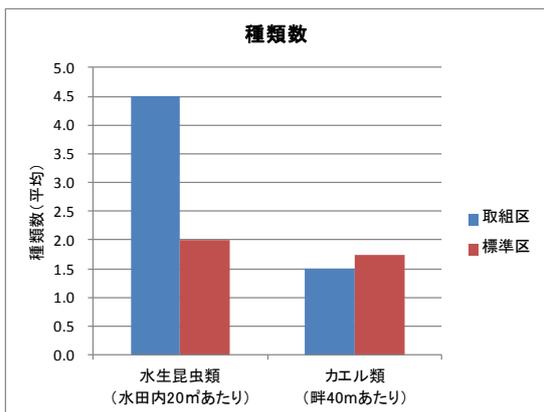


中干延期

取組区と標準区の比較

調査地点数: 4地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	4.5	2.0	65.0	20.3	0.83	0.33
カエル類(畔40mあたり)	1.5	1.8	15.0	29.8	0.33	0.59

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田 (越前市)

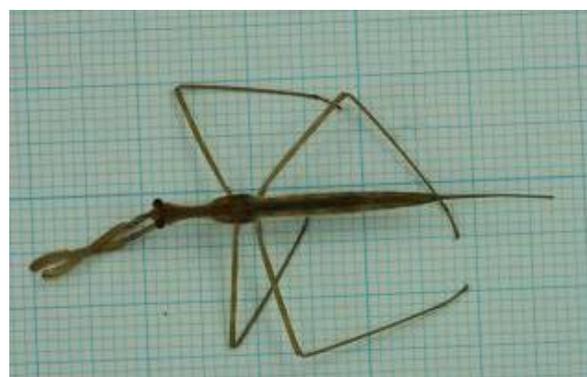
中干延期の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数・個体数については、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

多様度指数についても、水生昆虫類については、取組区の方が高い結果となった。

稲の品種によって、中干の時期が異なるため、調査時に取組区において中干を実施している地点を除いて結果を算出した。



取組区の水田で確認されたゴマフガムシ



取組区の水田で確認されたミズカマキリ